

平成 31 年(2019 年)度 JEES・出光(生産技術)奨学金 募集・推薦要項

公益財団法人日本国際教育支援協会(以下「本協会」という。)では、出光興産株式会社(代表取締役社長 木藤俊一氏)のご支援により、「JEES・出光(生産技術)奨学金」(以下「本奨学金」という。)の受給者を下記により募集する。

記

1. 目的

本奨学金は、工学分野を学ぶ学生の経済的不安を緩和し、学業に専念できる環境を整えることで、将来エンジニアとして活躍する有望な人材の育成を目的とする。

2. 奨学金の寄付者及び寄付の趣旨

本奨学金の寄付者である出光興産株式会社は、創業以来、石油燃料や石油化学製品を中心とする事業や、潤滑油、電子材料、機能化学品、アグリバイオ等高機能材事業で日本の産業を支えてこられた。本奨学金により、「ものづくり」を担い日本の競争力の源でありながら、今後ますます人材不足が懸念されるエンジニアの育成を願い資金を提供された。

3. 応募資格

次の各号のすべてに該当する者。

- (1) 2019年4月時点で、日本国内の大学(以下「大学」という。)の大学院修士課程(博士前期課程及び一貫制博士課程も含む。)1年次に正規生として在籍する日本人学生。大学は、寄付者と協議の上選定した指定校制とする。
- (2) 電気、計装、安全工学、金属材料などの工学分野を専攻する者。
- (3) 本奨学金の受給期間中、他の奨学金を受けない者。[貸与型(返済が必要なもの)奨学金は除く。]
- (4) 修学目的が明確で、支援の効果が期待できる者。
- (5) 心身共に健康であり、かつ品行方正で学業成績が優秀な者。
- (6) 2019年4月時点で在籍大学の長の推薦を受けることができる者。

4. 採用人数

3名程度

5. 支給内容

月額奨学金 80,000円

6. 支給期間

2019年4月より2021年3月まで(ただし、大学における在籍期間中に限る。)

7. 応募・推薦方法

- (1) 本奨学金を受けようとする者(以下「応募者」という。)は、所定の様式による願書を、大学を通じて、本協会理事長(以下「理事長」という。)に提出するものとする。
- (2) 大学の長は、3に挙げる応募資格に該当する者について、8に挙げる応募・推薦書類を理事長に提出するものとする。なお、推薦人数等については、別途依頼文で示す。

8. 応募・推薦書類

- (1) 願書(別紙様式1。ただし、日本語で書かれたものに限る。) 1通
- (2) 応募者の写真(最近6ヶ月以内に撮影したもの。4.0cm×3.0cm、上半身、脱帽、裏面に氏名を記入し、願書の所定欄に貼付すること。) 1葉
- (3) 推薦書(別紙様式2。推薦理由は、大学院での指導教官が記入すること。) 1通

9. 応募・推薦書類の提出期限

2019年4月26日(金)本協会必着。なお、締切期日を過ぎた場合や提出書類に不備のある場合は、受理しない。また、提出書類は一切返却しない。

10. 選考方法及び結果の通知

理事長は、7の(2)により推薦された者について寄付者とともに選考を行い、受給者を決定する。結果は、2019年6月中を目途に大学を通じて通知する。必要に応じて面接を実施する。

11. 支給方法

本奨学金は、別に定める方法により、大学を通じて支給する。

12. 受給者の義務

- (1) 受給者は、本奨学金支給期間中の学習・研究状況について、学業成績証明書と共に、年度末及び奨学金受給終了後、所定の様式により、大学を通じて本協会に提出しなければならない。
- (2) 受給者は、学籍に変更があった場合、所定の様式により大学を通じて遅滞なく届け出なければならない。
- (3) 受給者は、住所・連絡先に変更があった場合、大学在籍中は所定の様式により大学を通じて、大学卒業後は任意の様式により直接本協会へ遅滞なく届け出なければならない。
- (4) 本奨学金を受給した者は、自身の進路について、本奨学金受給終了時に所定の様式により、大学を通じて本協会に報告しなければならない。
- (5) 受給者は本協会又は寄付者の要請に応じ、アンケート等への回答、及び交流会・インターンシップ等に参加しなければならない。なお、インターンシップは2019年9月上旬の1週間程度を予定。

13. 奨学金給付の休止又は終了

- (1) 受給者が長期欠席した場合は、本奨学金を支給しない。
- (2) 受給者が、次の①から④のいずれかに該当した場合には、本奨学金の支給を打ち切る。
 - ① 大学を休学又は留年した場合。
 - ② 本奨学金受給者の義務を怠った場合。
 - ③ この要項の定める事項に該当しなくなった場合。
 - ④ その他受給者として相応しくないと判断された場合。
- (3) 応募・推薦書類の記載事項に虚偽のある場合は、受給決定を取り消す。
- (4) 寄付者からの寄付が滞った場合、事前通知のうえ、休止又は終了する。

14. その他(注意事項等)

- (1) 受給者は、原則として、本奨学金の返還義務を負わない。ただし、13. に挙げる事項に該当する場合、すでに支給している奨学金の返還を求める場合がある。また、本奨学金寄付者への入社その他の付帯義務を負うものではない。
- (2) 本奨学金採用決定(本奨学金採用決定通知を大学が受領した時点)前に他の奨学金の受給が決定した場合、大学を通じて本協会に速やかにその旨報告しなければならない。また、本奨学金受給者として採用された場合、受給期間終了まで本奨学金を辞退して他の奨学金を受給することはできない。

15. 個人情報の取り扱い

(1) 個人情報の管理

本協会は、本奨学金に関連して取得した願書・報告書等に記載される全ての個人情報を本協会の個人情報保護方針に基づき、本奨学金寄付者と共同して、細心の注意のもと管理・利用・破棄する。また、あらかじめ本人の同意がない限り、個人情報を他の第三者へ開示・提供しない。

(2) 個人情報の利用目的

本協会及び本奨学金寄付者は、本奨学金に関連して取得した個人情報を適切に管理し、下記以外の目的には利用しない。

- ① 応募書類を本奨学金の受給者を決定する選考の際に利用する。
- ② 応募書類に記載された個人情報を奨学金支給事務のために利用する。
- ③ 応募書類に記載された個人情報を奨学金授与式または交流会・インターンシップ等の開催時に利用することがある。

- ④応募書類に記載されたメールアドレスあるいは電話番号を当協会実施の学生援助プログラムの案内や参加の際の連絡手段として利用する。
- ⑤報告書、お礼状、近況報告等を事前に受給者本人からの承諾を受けた上で、当協会及び奨学金寄付者のホームページ等において広報目的に使用することがある。

16. 応募・推薦書類の提出先・問い合わせ先

公益財団法人 日本国際教育支援協会 事業部 国際交流課
〒105-0003 東京都港区西新橋 1-13-1 DLX ビルディング 12 階
TEL: 03-5454-5274 FAX: 03-5454-5242 E-mail: ix@jees.or.jp

以上

平成31年(2019年)度JEES・出光(生産技術)奨学金 願書

年 月 日

公益財団法人 日本国際教育支援協会 理事長 殿

申請者署名
(自筆)

私は、本奨学金の募集・推薦要項の全記載内容に同意・了承の上、同意の上、平成31年(2019年)度JEES・出光(生産技術)奨学金受給者として採用願いたく、下記記載事項に相違ありませんので、ここに申請いたします。なお、受給者として採用された場合は、受給期間終了まで本奨学金を辞退して他の奨学金を受給することはいたしません。

記

● 氏名

	氏	名	写真 最近6ヶ月以内に 撮影したもの。 サイズ4.0cm×ヨ3.0cm、 上半身、脱帽、裏面に 氏名を記入すること。
フリガナ			
漢字			
ローマ字			

● 大学名等(支給開始時点)

大学		

研究科	専攻	
_____	_____	
修士課程(博士前期課程・一貫制博士課程)	1	年次在籍
	(_____ 年 _____ 月 卒業予定)	

● 国籍・地域

日本

● 生年月日

年 月 日
(支給開始時点で満 歳)

● 性別

男・女

● 現住所等(※印は記入必須)

〒 _____	
※ _____	
TEL: _____	※ 携帯電話: _____
※ E-mail (PC): _____	
E-mail (携帯電話): _____	

- 学修計画等(スペースが足りない場合、別紙(A4版)を添付してもよい)

(1) 在籍中の学習・研究計画

学習・研究計画タイトル (無い場合は、概要) :
(具体的な内容)

(2) 将来の進路希望

--

以上

【記入上の注意】

- ・申請者本人が記入すること。タイプ入力する場合は、印刷時に文字が切れないよう注意すること。

平成31年(2019年)度JEES・出光(生産技術)奨学金 推薦書

年 月 日

公益財団法人 日本国際教育支援協会 理事長 殿

大学名 _____

学長名 _____

公印 _____

下記の者は、本学において審査の結果、平成31年(2019年)度JEES・出光(生産技術)奨学金の受給者として適格であると認めたので、「平成31年(2019年)度JEES・出光(生産技術)奨学金募集・推薦要項」に基づき、関係書類を添えて推薦します。

なお、受給者として採用された際は、本学による送金手数料等の負担を含め、奨学金支給事務に協力します。

記

● 推薦する学生の情報 (支給開始時点)

	氏	名	国籍・地域	日本
(フリガナ)				
漢字				
ローマ字				
学籍状況	研究科 _____ 専攻 _____ 修士課程(博士前期課程・一貫制博士課程) ____1____ 年次在籍 (____年 ____月 入学 / ____年 ____月 卒業(修了)予定)			

● 推薦理由 (スペースが足りない場合、別紙(A4版)を添付してもよい。)

推薦者所属先 (学部・研究科 /学科・専攻)		職名	氏名	印

● 大学担当者連絡先

住所	〒 _____		
部署		電話	
氏名		E-mail	

以上

家 庭 調 査 書													
申 請 者	所 属	学群 _____ 学類 _____ 年次 _____											
	学籍番号	_____						性別	男・女	現住所	〒 _____ TEL (_____)		
	フリガナ	_____								家族住所	〒 _____ TEL (_____)		
	氏 名	_____											
家 族 及 び 所 得	就 学 者 を 除 く 家 族	続柄	氏 名	年 齢	職 業	在職 期間	勤 務 先 名 称		給与所得の収入 金額 (税込)	給与所得以外の 所得金額			
		父				年			万円	万円			
		母					年			万円	万円		
		父または母 死亡・離別の場合 時期 (年 月) 理由 (_____)											
		主たる家計支持者無職等の場合 時期 (年 月) 理由 (_____)											
							年			万円	万円		
							年			万円	万円		
							年			万円	万円		
							年			万円	万円		
	別 居 者 に ○ 印	就 学 者	続柄	氏 名	年 齢	学 校 名		設置者別	学校種別		通学別	控 除 額	
本人					筑波大学		国立			※自 宅 自 宅 外	万円		
							※国公立 私 立	※小・中・高・高専・大学 専修 (高等・専門)		※自 宅 自 宅 外	万円		
							※国公立 私 立	※小・中・高・高専・大学 専修 (高等・専門)		※自 宅 自 宅 外	万円		
							※国公立 私 立	※小・中・高・高専・大学 専修 (高等・専門)		※自 宅 自 宅 外	万円		
家 庭 の 特 殊 事 情	特別控除項目		控除有無										
	障害者がいる世帯		※有・無		続柄 () 氏名 () 手帳番号 ()								
	その他												
本 人 の 状 況	家庭からの給付		月額 (千円)				認 定						
	アルバイト		月額 (千円) 内容 (_____)				総収入金額		① 万円				
	奨学金	受給中	月額 (千円) 団体名 (_____)				必要経費		② 万円				
		申請中	月額 (千円) 団体名 (_____)				特別控除額		③ 万円				
	その他の収入		月額 (千円) 内容 (_____)				総所得金額		④=①-②-③ 万円				
学 業 成 績	評 価	高等学校	5	4	3	2	1	平 均 値	収入基準額	世帯人数 人			
		大学 (院)	A	-	B	C	-			⑤ 万円			
	修得単位数または科目数								家計充足率		⑥=④÷⑤×100		

- (注) 1. 太線の枠内を記入し、※印は○で囲むこと。
2. 「給与所得の収入金額」欄は、申請の前年1年間の収入金額を記入し、所得証明書、源泉徴収票(写)を添付すること。
(父と母が給与所得者の場合は父と母両方添付すること。年金受給者の場合は年金振込通知書(写)。失業者は雇用保険受給資格者証(写)。
3. 「給与所得以外の所得金額」欄は、申請の前年1年間の収入金額から必要経費を控除した金額を記入し、確定申告書(写)等を添付すること。
(父と母が確定申告をしている場合は父と母両方添付すること。)
4. 「家庭の特殊事情」欄について、障害者のいる世帯については障害者手帳(写)、その他については証明するものを添付すること。
5. 「学業成績」欄については、1年次生(編入学生を含む。)にあつては出身学校の成績を記入(科目数で平均値を算出)し、成績証明書を添付すること。2年次以上の者にあつては、前年度までの成績(修得単位数で平均値を算出)を記入し、成績証明書を添付すること。